

かしわ

強く
正しく
朗らかに



梅雨の走り?~ 夏日?~もう少しで梅雨
入り?。体調に気をつけましょう!

No. 2
令和3年6月1日

★引き続き新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。

- ・家庭での健康観察と健康観察記録表を持って登校すること、マスクの着用をお願いします。
- ・発熱等の風邪症状が見られる場合には、自宅で休養しましょう。
- ・早退する際は、すみやかな迎えにご協力ください。

【5月11日(火)PTA総会、卒業生講話】

午後から視聴覚室でPTA総会を開催しました。令和2年度報告、3年度計画が承認されました。

ありがとうございました。当面制限がある中で、できる活動となります。他校PTAとの情報交換等が直接できないのは残念ですが感染対策を考えながらできることを考えていきましょう。総会後は、「卒業生講話」を体育館で小学部5年生から高等部3年生までの児童生徒も参加してお話を聞きました。今回講師を務めていただいた石丸洋子さんは高等部卒業後横須賀市役所に勤務し、現在は教育委員会で仕事をしています。聴覚障害者フラダンスでお世話になっている人もいますね。



◎ろう学校の思い出

制服やカバン、校舎の色は現在と違っていたそうです。百人一首大会では、当時は手話を使っていなかったのが口話だけで行ったことや現在横浜市立ろう特別支援学校に勤務している宮前先生が優勝、石丸さんは2位と言っていました。(後で校長室のトロフィーを見てみたら石丸(旧制菰岡)さんも優勝しています。)

◎今のうちにやったことがいいこと

○正しい日本語を身につけ、文章力をつけること。

朗読や詩を書く、新聞の編集後記やミニコラムを書き写して正しい文章を練習したり、新聞を読み、新聞社に自分の考えを投稿したりしたそうです。

○学校で経験できないことをする。

ボーイスカウトに参加したり、青少年キャンプ(YMCA)に参加して、海外の聾学校の見学、外国のろう者との交流をしたそうです。アメリカ手話を学び、今はフランス手話を勉強中と言っていました。聴覚障害児・者グループ「ひよこっち」の活動もしています。

◎仕事をするうえで気をつけていること



わからないことを聞きこと。聞く際は一方的に聞いて終わるのではなく、「~だと思ったのに違ったんだ」のようにやりとりをすること。会話のキャッチボールが必要と言っていました。多分コミュニケーションを通して人間関係も築けるのだと思います。

最後に話していたことも印象的でした。「聞こえないからこそ、気づけることがたくさんある。聞こえなくても誰かがきくとあなたのことを応援してくれています。一緒に頑張りましょう!皆さんの将来の夢が叶えられるように応援しています!」と言って講話を閉じました。聞いていた皆さんはどのように感じましたか。

【卒業生来校 4月30日(金)】

卒業生が卓球部の賞状や写真などがあれば見たいということで2月頃から連絡をいただいていた。

校長室にある盾やトロフィー類を見た後、2階の史料室にある写真を見ました。授業や行事の写真や卓球大会の写真を懐かしそうに見ていました。



当時の本校卓球部は強かったようで関東聾学校大会、全国聾学校大会で入賞しています。選手宣誓の写真は小川さんが高3の時に参加した関東聾学校卓球大会で横須賀アリーナが会場でした。選手宣誓の言葉を今でも覚えていて教えてくれました。その4年後にも横須賀アリーナ会場で関東大会が開催されていました。帰る前に校長室で記念写真をとりましたが、川崎さんが持っているトロフィーは全国聾学校卓球大会女子団体準優勝のものです。準優勝でとても悔しがっていました。そして、小川さんが持っている盾は何故か神奈川県聾学校体育大会バスケットボール大会の優勝盾です。今は陸上競技だけですがこの当時はバスケットボールも行ってたそうです。

*2人が在籍時に作成した作品が校内に展示されています。どこにあるでしょうか。



【5月28日(金)学校評議員会】

今年度第1回の学校評議委員会を開催しました。学校評議員設置の趣旨は、「地域社会の協力を得て学校運営が行われるよう、学校外の有識者から、学校運営に関し、幅広く多様な意見をいただくために設置されています。学校の教育活動の状況や予定、幼児児童生徒、教職員



の様子等を報告説明し、学校運営上のご意見をいただきました。この日は、幼稚部が校外学習で不在でしたが、小学部、中高等部の授業参観や給食も一緒に食べていただきました。

前列右:久米武郎様(本校元教頭) 本校の小学部等で勤務していました。現在も授業研究や研修会でもお世話になっています。

前列左:齋藤捷彦様(本校元校長) 本校幼稚部に勤務し、聴覚口話を長くに渡り実践されました。

後列右:武谷広子様(内科医) 地域から聴覚障害教育に携わっていただいています。

後列中央:山本晃様(国立特別支援総合研究所) 研究所では聴覚障害教育の総括研究員として勤務し、専門的な立場から本校を指導していただいています。

後列左:鈴木勝博(森崎5丁目) 5丁目横断歩道では、森崎小、大矢部中の児童生徒とともに本校児童生徒の登校時の安全を見守るなど地域の立場から応援いただいています。

【小学部・中学部・高等部の水泳授業中止について】

学校の水泳授業については教育委員会から「手をつなぐ、体を支えるなど児童生徒が密着する活動は避ける等感染リスクに十分に注意して計画実施することや小学 1 年生から 4 年生対象とした授業については、感染防止対策の徹底が難しいことが予想されるため、実施しないこと」とする通知がありました。小学部は例年不入斗にあるサブアリーナプールを利用して全学年合同で実施しています。路線バスを利用しなければならないことも考えて中止といたしました。中学部・高等部は、例年大矢部中学校のプールで実施していました。今年度は実施の方向で検討していましたが大矢部中学校が水泳授業を実施しないこととなったため本校も中止といたしました。市内小学校は全校中止、市内中学校のほとんどの学校が中止の判断をしています。

【5月28日(金)創立記念日】

本校は昭和4年(1929年)に「私立馬淵聾啞学校」として、児童12名で授業を開始しました。昭和28年(1953年)に「横須賀市立ろう学校」となり、昭和50年(1975年)に現在の校舎で授業を開始、創立以来92年となりました。



馬淵聾啞学校校舎全景(右端寄宿舎)



報告

3月に匿名で学校に寄附が届きましたのでお知らせいたします。「世の中、暗い話題が続く毎日ですが、お子様たちのお役に立てれば幸いです。お子様たちのこれからの希望ある未来を願いつつ」という丁寧な手紙とともに寄付をいただきました。使い道については考え中です。

【6月】2日(水)内科検診

3日(木)4日(金)介護体験(鎌倉女子大学)

14日(月)スクールカウンセラー(午後)

15日(火)芸術鑑賞会ワークショップ(パントタイム)

22日(火)23日(水)中間テスト(中高)

29日(火)幼稚部説明会

29日(火)~7月1日(木)授業参観(小・中・高)

